

事例 33 無人航空機を用いた森林調査方法の検討

(北海道森林管理局 おしま 渡島森林管理署)



- 北海道 二海（ふたみ）郡
八雲町（やくもちょう）
トフルベツ国有林
- 講習会にて無人航空機を飛行
する様子

林野庁では、無人航空機など ICT（情報通信技術）を活用した森林管理方法の検討を進めています。中でも無人航空機による森林調査は従来の調査の省力化が見込まれることから、国有林野を活用した実証を進めています。

北海道森林管理局渡島森林管理署では、平成 29 年度から無人航空機で森林を上空から撮影し、撮影した写真を基に樹木の本数を算出する手法に取り組んでいます。

令和元年度は、道外の三重県松阪農林事務所からの依頼を受けて、北海道八雲町のトフルベツ国有林において、講習会を開催しました。講習会を通じて、無人航空機の飛行や上空からの写真撮影、本数算出手法について情報共有しました。

今後、誤差の改善等に取り組みつつ、無人航空機による森林調査方法の更なる検討を進めていくこととしています。

